

政策情報学会  
第8回研究大会



2012年12月1日（土）

会場 千葉商科大学

# 大会参加要領

1. 受付 2012年12月1日(土)  
9時30分～16時00分：千葉商科大学図書館5階ロビー
2. 大会参加費 一般会員：1,000円  
学生会員：1,000円  
非会員：1,000円  
千葉商科大学の学部・大学院生は無料(学生証をご提示下さい)  
※学生会員の方は、身分証明書を提示して下さい。  
※参加費には、予稿集および資料代が含まれています。
3. 懇親会費 一般会員：3,000円  
学生会員：2,000円  
非会員：3,000円  
懇親会費は、事前に大会受付にてお支払願います。
4. 学会費の納入 当日受付で、学会の入会申し込みおよび学会費(年会費)の納入を受け付けます。  
一般会員10,000円、学生会員3,000円、賛助会員30,000円(一口)
5. 学会発表・パネルディスカッション ①1人あたり、発表は15分とします。  
②パネルディスカッションは、14時40分～16時40分です。
6. 欠席の場合 止むを得ない事情により、学会発表者が万一欠席される場合には、大会前日までに学会事務局および大会実行委員会本部までご連絡下さい。なお、発表取り消しがあった場合でも、プログラムの発表順を繰り上げることはありません。
7. お問い合わせ 政策情報学会事務局  
〒603-8577  
京都府京都市北区等持院北町56-1 立命館大学周瑋生研究室内  
E-Mail：API-jimu@cuc.ac.jp
8. 大会実行委員会本部 〒272-8512  
千葉県市川市国府台1-3-1 千葉商科大学政策情報学部 朽木量研究室  
E-Mail: kutsuki@cuc.ac.jp
9. 会場 <メイン会場>  
研究発表：図書館5階 国際会議場  
基調講演：図書館5階 国際会議場  
シンポジウム：図書館5階 国際会議場  
<ジョイントセッション会場>  
日英セミナー：本館3階 3-1 会議室  
  
講師控室・理事会会場：図書館4階 L-3 会議室  
本館3階 ファカルティ・クラブ
10. 懇親会会場

会場 千葉商科大学

〒272-8512 千葉県市川市国府台1-3-1

主催 政策情報学会

〒603-8577 京都府京都市北区等持院北町56-1 立命館大学周瑋生研究室(事務局)

E-Mail：API-jimu@cuc.ac.jp

共催 千葉商科大学政策情報学部

日英セミナー『Policy Integration between Environmental Assessment and Disaster Management』

## 第8回研究大会の開催にあたって

### 大会テーマ

#### 「一般化された政策とその当事者としての市民づくり

#### ～未来設計の観察者から当事者へ～

東日本大震災、原発事故など未曾有の大災害を経験することとなった現在の日本では、官僚制度、東電問題、政局中心の政治など既存の組織の崩壊と組織の論理の弊害が露呈してきている。震災時に公的情報が混乱する中、ネット掲示板やSNSでの情報が比較的有効に機能しており、見知らぬ個の連携の強さを知ったのは記憶に新しい。また、フェイスブックなどネットコミュニケーションを媒介として、首相官邸前で一般市民による反原発デモが行われるなどといった動きも出始めている。しかしながら、市民を政策の当事者として巻き込むための方途はパブリックコメントや地域フォーラムなどの手法に限られており、東浩紀が『一般意思 2.0』で構想したような意見集約のための手立てはまだない。

政策情報学においては、その構想当初から市民目線の重視と大衆知の活用が認識されていたが、上記のような現状の今こそ政策の当事者としての市民のあり方が問われている。パブリックコメントのように市民から意見聴取して政策に反映させるというだけでは、旧来の組織中心の論理に「市民の意見を反映させた」という名ばかりの錦の御旗を与えるだけで、実態は以前と変わらずに組織の論理に合致するものだけが採択されるに過ぎない。市民の異質で多様な意見を如何にして政策に反映させ、市民にフィードバックするのか。それを受けて、市民がさらにリコメントする余地も残しておかなければならない。そうした市民と政策のインタラクティブ性を常に維持し、多様で異質なものを全体論的に取り扱うことが求められている。

かつてギリシャの円形劇場でギリシャ悲劇が生まれ、市民が音楽や芝居、議論を楽しむ中から学問が生まれ、アゴラの倉庫が美術館や図書館を生み、異質な知の横断と交流を生んできた。異質な知と自立した個の交流が作り出す連関こそが変化する社会に対応する新たな視角を生むのである。合理性や妥当性、多数性のみで選択するような荒っぽい既存の政策科学ではなく、しなやかな政策情報学的発想から未来設計の当事者たる新しい市民像と新たな政策立案のための手立てを模索してみたい。

# プログラム

◆12/1 (土)

<b>受付</b>	
9時30分～16時00分	メイン会場前ロビー
<b>第9回総会</b>	
9時45分～10時15分	<p>メイン会場 (図書館5階 国際会議場)</p> <p>総会報告者：小泉國茂 (政策情報学会事務局長) 高橋俊行 (政策情報学会事務局会計担当) 議長：仲上健一 (政策情報学会会長)</p>
10時15分～10時20分	<b>休憩時間 (5分)</b>
<b>開会挨拶・開催校挨拶</b>	
10時20分～10時30分	<p>メイン会場 (図書館5階 国際会議場)</p> <p>開会挨拶：中道壽一 (北九州市立大学法学部教授；政策情報学会会長) 開催校挨拶：宮崎 緑 (千葉商科大学政策情報学部学部長)</p>
<b>研究発表</b>	
10時20分～12時05分	<p>メイン会場 (図書館5階 国際会議場)</p> <p>座長：藤川吉美 (千葉商科大学大学院政策研究科客員教授) 発表者：</p> <p>(1) 安田 純 (千葉商科大学大学院政策研究科) 「高齢者住宅問題から見える新しい住まいの方向性について」</p> <p>(2) 永野亜紀 (九州大学大学院比較社会文化研究院) 「欧州各国における持続可能な開発戦略の変容」</p> <p>(3) 加藤久明 (総合地球環境学研究所研究部プロジェクト研究推進支援員) 濱崎宏則 (総合地球環境学研究所研究部プロジェクト研究員) 渡部慧子 (総合地球環境学研究所研究部プロジェクト研究員) 今川智絵 (総合地球環境学研究所研究部プロジェクト研究員) 中桐貴生 (大阪府立大学生命環境科学研究科准教授) 「生活起点発想に基づく統合的水資源管理の再構築： インドネシア・バリ島ならびにスラウェシ島における 当事者起点のフィールド研究」</p> <p>(4) 大内 翔 (千葉商科大学大学院) 「文化政策における物語の重要性： 館山及び呉、沖縄を中心とした近代戦争の遺産の活用」</p> <p>(5) 空閑睦子 (島根県中山間地域研究センター) 安部 聖 (島根県中山間地域研究センター) 「地域コミュニティにおける共助力を高める要因の検討： 島根県雲南市掛合町波多地区を事例に」</p> <p>(6) 龍本絵理奈 (立命館大学大学院政策科学研究科博士後期課程) 「消費者の環境配慮意識の形成と行動選択」</p>

<b>日英セミナー 『Policy Integration between Environmental Assessment and Disaster Management』</b>	
10時50分~12時30分	<p>ジョイントセッション会場（本館3階 3-1会議室）</p> <p>「Disaster Management and Environmental Assessment tools (2)」</p> <p>Chair: Yuki Shibata    Co-Chair: Ken'ichi Nakagami</p> <p>Presenter:</p> <p>(1) Shigeo Nishikizawa (<i>Associate Professor, Tokyo Institute of Technology</i>) “Japanese EIA system and its practice relevant to disaster management”</p> <p>(2) Steve Swain (<i>Environment Agency</i>) “Implications of the absence of EA requirements for civil emergency plans”</p> <p>(3) Kenichi Tanaka (<i>Senior Advisor (Environmental Impact Assessment), Japan International Cooperation Agency</i>) “Reconstruction and Mass Relocation Initiatives by the Resident Association -Sakihama District, Ofunato City- (Source: NPO Iwate Community Support Center)”</p> <p>(4) Bridget Durning (<i>Oxford Brookes University</i>) “Furthering environmental assessment through continuing assessment into management as an aid to integrating disaster risk reduction measures into development”</p>
<b>昼食休憩</b>	
12時30分~13時20分 <b>(第33回理事会)</b>	<p>※昼食は学内食堂をご利用ください。</p> <p>理事会会場（図書館4階 L-3 会議室） [大会に参加される理事の方々は、理事会へのご出席をお願いします]</p>
<b>基調講演</b>	
13時20分~14時10分	<p>メイン会場（図書館5階 国際会議場）</p> <p>テーマ：「シベリアン・コントロール再考察：カールシュミット再考」 基調講演者：中道壽一（北九州市立大学法学部教授） 司 会：朽木 量（千葉商科大学政策情報学部准教授）</p>
<b>話題提供</b>	
14時10分~14時30分	<p>メイン会場（図書館5階 国際会議場）</p> <p>テーマ：「国際関係構築と未来設計の系譜」 話題提供者：山神 進（立命館アジア太平洋大学副学長）</p>
14時30分~14時40分	<b>休憩時間（10分）</b>
<b>パネルディスカッション</b>	
14時40分~16時40分	<p>メイン会場（図書館5階 国際会議場）</p> <p>テーマ：「一般化された政策とその当事者としての市民づくり ～未来設計の観察者から当事者へ～」 コーディネーター：朽木 量（千葉商科大学政策情報学部准教授） パネリスト：中道壽一（北九州市立大学法学部教授）</p>

	<p>山神 進 (立命館アジア太平洋大学副学長)  竹下 賢 (関西大学大学院法務研究科教授)  井関利明 (慶應義塾大学名誉教授)  仲上健一 (立命館大学政策科学部教授)  加藤久明 (総合地球環境学研究所プロジェクト研究推進支援員)</p>
<b>閉会挨拶</b>	
16時40分～16時50分	<p>メイン会場 (図書館5階 国際会議場)  大会実行委員長 : 朽木 量 (千葉商科大学政策情報学部准教授)</p>
<b>懇親会</b>	
17時30分～19時30分	<p>本館3階 ファカルティ・クラブ  一般会員 : 3,000円  学生会員 : 2,000円  非会員 : 3,000円</p>

## 政策情報学会第8回研究大会実行委員会

委員長 朽木 量 (千葉商科大学政策情報学部准教授)  
副委員長 樹下 明 (千葉商科大学大学院政策研究科プロジェクトアドバイザー)  
委員 若井郁次郎 (大阪産業大学人間環境学部教授; 常任担当理事)  
加藤 久明 (総合地球環境学研究所プロジェクト研究推進支援員)  
濱野 和人 (千葉商科大学商経学部非常勤講師)  
松尾 和典 (フリーランス)  
大内 翔 (千葉商科大学大学院政策情報学研究科修士課程)